

# 「ナラ枯れ」被害の拡大防止に ご協力をお願いします！



紅葉の季節ではないのに 山が赤茶色になっています。

高槻市 日吉台の北方 平成24年7月31日撮影

市街地から望む山のみどりは、箕面のシンボルとして古くから「名勝・箕面山」や「山なみ景観保全地区」などの規制もあり守られてきました。又、多くの市民は「四季折々に美しい山を次世代に残したい」と望んでいます。その美しい景観が、カシノナガキクイムシ（カシナガ）による「ナラ枯れ」被害により危うくなっています。このまま放置すると、他市の例のように「紅葉の季節でもないのに、山が赤茶色になっている」状態が何年も続くことになるでしょう。平成22年1本、23年124本、24年には318本（枯死木40本・穿入生存木278本）のナラ枯れ被害が発生しています。

枯死木は、冬場に伐倒し、地際まで玉切りをしてノコ目を入れて、薬剤を散布してくん蒸処理をします。カシナガが入っていても、枯れていない生存木は、伐倒・くん蒸処理は行わず、カシナガが羽化して飛び出す前に、地際から粘着シートを巻いて、被害の拡大を防ぎます。



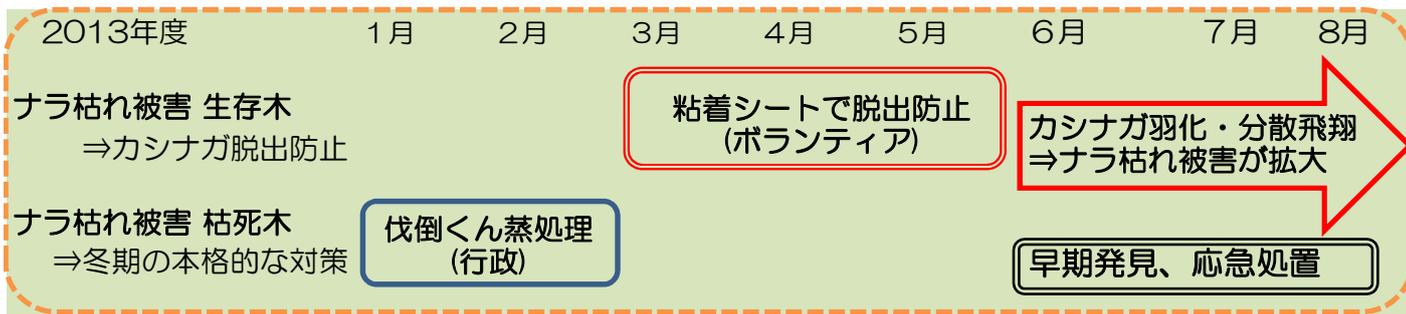
枯死木を伐倒  
玉切り  
ノコ目入れ



シートで密閉  
薬剤を散布  
くん蒸処理

**5月末までに、全てのカシナガ被害木(生存木)に粘着シートを巻く予定です。**

**3・4・5月に、一緒に活動していただけるボランティアを募集しています。**



【活動日】

- 3月4日(月) ・ 18日(月)
- 4月1日(月) ・ 15日(月)
- 5月10日(金) ・ 20日(月)

【集合】みのお市民活動センター

【時間】午前10時～午後2時ごろまで

【問い合わせ】NPO山麓委員会事務局

携帯：090-1133-3615

\*山に入って、粘着シートを巻きます。

